

## '08年度第2四半期(4-9月)決算の概要

1. 経営成績 連結は増収(+12.6%)、経常減益(19.7%)  
単体は増収(+13.0%)、経常増益(+8.6%)

(単位:億円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	'07年度 4-9月	'08年度 4-9月	'07年度 4-9月	'08年度 4-9月	'07年度 4-9月	'08年度 4-9月	'07年度 4-9月	'08年度 4-9月
連結	631.1	710.5	23.1	19.9	28.9	23.2	7.7	12.1
単体	469.2	530.3	11.8	18.4	26.3	28.5	8.6	19.0

2. 分野別連結売上高

(単位:億円)

	'07年度4-9月		'08年度4-9月		前年同期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	差異額	伸び率(%)
界面活性剤	114	18.1	127	17.8	13	11.2
ウレタン関連製品	163	25.8	182	25.7	19	12.2
親油系高分子薬剤	135	21.3	146	20.5	11	8.4
親水系高分子薬剤	137	21.7	160	22.5	23	16.7
特殊化学品	74	11.7	86	12.2	12	17.5
非化学品・技術収入	9	1.4	9	1.3	-	2.1
合計	631	100.0	710	100.0	79	12.6

3. 分野別連結営業利益

(単位:億円)

	'07年度 4-9月 営業利益	'08年度 4-9月 営業利益	前年同期比 差異額
界面活性剤	3.7	7.5	3.8
ウレタン関連製品	1.6	1.1	0.5
親油系高分子薬剤	2.6	3.8	1.2
親水系高分子薬剤	5.9	1.9	7.8
特殊化学品	9.2	9.0	0.2
非化学品・技術収入	0.1	0.4	0.3
合計	23.1	19.9	3.2

4. 経常利益の増減分析（対前年同期比）

（単位：億円）

	連 結	単 体
数量効果	9.4	1.6
価格効果	8.7	3.0
（原料価格アップ）	（ 54.2 ）	（ 45.0 ）
（製品価格アップ）	（ 45.5 ）	（ 48.0 ）
固定費増	5.1	0.6
ユーティリティのアップ	3.8	3.0
コストダウン他	4.9	4.4
営業利益増減	3.3	6.6
営業外収支の改善	2.4	4.3
経常利益増減	5.7	2.3

（参 考）

為替レート 〔 '08/3月末レート 1 \$ = 100.19円 : '07/3月末レート 1 \$ = 118.09円 〕  
 〔 '08/9月末レート 1 \$ = 103.63円 : '07/9月末レート 1 \$ = 115.46円 〕  
 〔 '08/4-9平均レート 1 \$ = 106.13円 : '07/4-9平均レート 1 \$ = 119.40円 〕

ナフサ価格 '08/4-6 70,900円/KL ('07/4-6 57,800円/KL)  
 '08/7-9 85,800円/KL ('07/7-9 59,700円/KL)

5. 連結業績予想

平成20年4月30日に公表した連結業績予想と当第2四半期累計業績の進捗率は、下表の通りです。

（単位：百万円）

	第2四半期連結累計期間		通 期	
	予 想	進捗率（%）	予 想	進捗率（%）
売上高	68,000	104	146,000	49
営業利益	2,100	95	6,000	33
経常利益	2,700	86	7,000	33
当期純利益	1,500	80	4,100	29

経営環境は、米国の金融危機に端を発した世界経済同時減速懸念や原燃料価格・為替の動向等、先行きの不透明感を強めています。連結業績予想は修正していません。

世界的な金融危機と景気後退を背景に、当第2四半期連結会計期間末後、株価は大幅に下落しており、この状況が継続した場合、保有株式について投資有価証券評価損を計上することが必要となります。

（平成20年10月28日現在の株価に基づく投資有価証券評価損は、18億円程度）

6. 08年度の主な設備投資アイテム（検収ベース）

	(4-9月実績)	(年間予定)
衣浦：AOA(アルピノ・林ド・アグ)製造設備 [AOA生産設備設置工事]	1,240 百万円	2,720 百万円
鹿工：永久帯電防止剤生産設備能力増強 [真空有合能力増強]	358 "	610 "
研究：新研究所建設 [桂研究所本体工事] *	664 "	664 "
.....		
設備投資総額（連結）	5,482 百万円	13,600 百万円
（減価償却費）	（ 3,901 " ）	（ 9,000 " ）

\* 桂研究所の本体工事総額は1,612百万円